

## 遠野地方における環境林造成促進の取組～強度間伐の施業効果は～

### 1 はじめに

いわて環境の森整備事業(以下「環境の森事業」という。)で実施されている環境林の造成について、一層の施工面積を確保するためには、地域単位で取組を進めていく必要があります。

そこで、当センターでは、環境林造成の技術や知識の高度化を目的とした研修会を令和6年1月25日に開催したので、その概要を紹介します。

### 2 研修会の概要

遠野管内の林業事業者等(5者14人)を対象として、室内研修と現地検討を実施しました。

#### (1) 室内研修

岩手県林業技術センターの小岩上席専門研究員を講師に招き、「環境の森事業で実施した強度間伐の施業効果」と題して、強度間伐による広葉樹誘導効果等の検証を行っているモニタリング調査の結果の説明を受けました。



室内:強度間伐の施業効果に関する講義

試験地により状況が異なるものの、強度間伐による下層植生の導入が確保されていること、植栽木の生長など施業効果が見られるといった事例を紹介されました。

#### (2) 現地検討

平成27年に環境の森事業で強度間伐を実施した遠野市松崎町の既施工地を見学し、成立密度の確認や、林床の広葉樹の生育状況等を確認しました。

参加者は、樹冠長や樹冠のうっ閉の度合いを確認しながら、強度間伐による森林機能の回復を実感していました。



現地:林分の混み具合などの状況確認

### 3 おわりに

今後は、環境の森事業の施工地確保の取組を強化するとともに、森林経営管理制度に係る市の森林整備の事業導入支援など遠野管内の林業関係者と連携しながら、環境林造成の取組を進めていきます。